

# 市役所の組織が変わりました

市は、令和3年4月1日に組織の改編を行いました。組織改編の主な内容をご紹介します。



## 「新型コロナウイルス ワクチン対策局」を設置

新型コロナウイルスワクチンの接種対応に係る体制を更に強化するため、健康管理部に「新型コロナウイルスワクチン対策局」を設置しました。また、新型コロナウイルス感染症対策に関する施策の総合調整を行うため、企画財政部新型コロナウイルス感染症緊急経済対策室を「新型コロナウイルス感染症総合対策室」に改編しました。



## 環境部の事務執行体制を見直し再編

令和3年4月から本市が廃棄物処理施設「エコクリーンプラザみやざき」の運営主体となることに伴い、環境部内に必要な体制を整備するとともに、同部内の業務分担の見直しを行うため、環境保全課を「環境政策課」に、廃棄物対策課を「環境指導課」に「環境施設課」に改編しました。



## 障がい福祉及び介護サービス事業者等への指導監査体制を強化

福祉部が所管する障がい福祉や介護サービスを提供する事業者等の指定や給付費の支給に関する業務と、それらの事業者等への指導監査に関する業務を分離し、事業所運営や給付の更なる適正化を図るとともに、業務の集約により体制を強化するため、福祉総務課の指導監査係を「指導監査室」に改編しました。



## 庁舎の建設業務推進のための組織体制の構築

市役所本庁舎及び消防庁舎の建設業務に係る体制を強化するため、総務部管財課に「新庁舎準備室」を、消防局総務課に「消防庁舎建設推進室」をそれぞれ設置しました。

## お願い

旧組織名が印刷された封筒やはがきなどの在庫がある場合、経費節減の観点から、旧組織名での印刷物を修正して使用することとしています。ご理解とご協力をお願いします。



おもしろ  
大城 冴和 さん

塩野直道賞受賞

# キラリ!

明日を見据える  
注目の人財を  
ピックアップ

## 授業で学んだ数学実験から 自分の夢に近づく確率を検証



毎年、(一財)理数教育研究所が主催する「算数・数学の自由研究」作品コンクール。日常生活などから興味を持ったことを、数学的な見方考え方を活用して主体的に探究した研究を募集します。2020年度の第8回コンクールは、小・中高生から11397件の応募があり、最優秀である塩野直道賞を中学生の部で受賞したのが、今春まで宮崎西高附属中3年だった大城冴和さんです。「夏休みの課題に数学の自由研究が出されたのがきっかけです。テーマに悩みましたが、授業やこれまでの経験を振り返って、漫画にあった自分の好きな宇宙飛行士のセリフをヒントにしました」と大城さん。提出した作品は『夢に近づく確率を上げる！』と題して、Jに学ぶ。サイエンスの授業で習ったパスカルの三角形を使った実験の装置を、自分で一から制作し、



「この表彰から学生栄誉賞をもらい県知事と話す機会もありました」と大城さん。

3週間ほど試行錯誤を繰り返して検証結果をまとめました。人生のあらゆる決断に確率に関わることに気づき、自分の夢を実現するに当たっての確率をパスカルの三角形と結び付けた点がユニークだと評価されました。「実験や検証、論文作成などどれも初めてでしたが、今回のことから身近な問題を柔軟な発想で解決していきたいと強く思うようになりました。これからも実験を糧に、夢に近づく努力をしたいと思います」と力強く語ってくれました。

今回作成した「パスカルの三角形の実験」装置を手に、確率の説明をする大城さん。

## PROFILE

長野県生まれ、小学4年生の時に両親と共に宮崎市に。中学3年生の時に、第8回「算数・数学の自由研究」で塩野直道賞を受賞。同年、第42回「全日本中学生水の作文コンクール」でも最優秀賞を獲得。今年4月から宮崎西高校理数科1年生。

問 人事課 TEL21-1722 FAX28-1556